

SEP. 15. 2004

特 許 協 力 条 約

発信人 日本国特許庁（国際予備審査機関）

出願人代理人

平木 祐輔

様

あて名

〒 105-0001

東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
虎ノ門5森ビル 3階

PCT

国際予備審査報告の送付の通知書

(法施行規則第57条)
(PCT規則71.1)

発送日

(日.月.年)

14 9 2004

出願人又は代理人
の書類記号

PH-1826-PCT

重要な通知

国際出願番号

PCT/JPO3/09094

国際出願日

(日.月.年) 17.07.2003

優先日

(日.月.年) 31.07.2002

出願人（氏名又は名称）

シャープ株式会社

1. 国際予備審査機関は、この国際出願に関して国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、それらをこの送付書とともに送付することを、出願人に通知する。

2. 国際予備審査報告及び付属書類が作成されている場合には、すべての選択官庁に通知するために、それらの写しを国際事務局に送付する。

3. 選択官庁から要求があったときは、国際事務局は国際予備審査報告（付属書類を除く）の英語の翻訳文を作成し、それをその選択官庁に送付する。

4. 注 意

出願人は、各選択官庁に対し優先日から30月以内に（官庁によってはもっと遅く）所定の手続（翻訳文の提出及び国内手数料の支払い）をしなければならない（PCT39条（1））（様式PCT/IB/301とともに国際事務局から送付された注を参照）。

国際出願の翻訳文が選択官庁に提出された場合には、その翻訳文は、国際予備審査報告の付属書類の翻訳文を含まなければならない。

この翻訳文を作成し、関係する選択官庁に直接送付するのは出願人の責任である。

選択官庁が適用する期間及び要件の詳細については、PCT出願人の手引き第II巻を参照すること。

名称及びあて名

日本国特許庁（IPEA/JP）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

権限のある職員

特 許 庁 長 官

5E

4230

電話番号 03-3581-1101 内線 3520

様式PCT/IPEA/416（1992年7月）

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

REC'D 16 SEP 2004

WIPO

PCT

| | | |
|--|---|---------------------------|
| 出願人又は代理人 の書類記号 PH-1826-PCT | 今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。 | |
| 国際出願番号 PCT/JP03/09094 | 国際出願日 (日.月.年) 17.07.2003 | 優先日 (日.月.年) 31.07.2002 |
| 国際特許分類(IPC) Int. Cl ⁷ G06F 3/033 | | |
| 出願人(氏名又は名称) シャープ株式会社 | | |

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
- ☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で 5 ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☐ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☐ 国際出願に対する意見

| | | |
|---|------------------------------|---------|
| 国際予備審査の請求書を受理した日 18.11.2003 | 国際予備審査報告を作成した日 17.08.2004 | |
| 名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 | 特許庁審査官(権限のある職員) 久保田 昌晴 | 5E 4230 |
| | 電話番号 03-3581-1101 内線 3520 | |

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1-14 ページ、出願時に提出されたもの
明細書 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 _____ 項、出願時に提出されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
請求の範囲 第 _____ 項、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
請求の範囲 第 1-12 項、13.04.2004 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1-9 ~~ページ~~図、出願時に提出されたもの
図面 第 _____ ページ/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
図面 第 _____ ページ/図、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならない、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

| | | | |
|---------------|-------|------|--------|
| 新規性(N) | 請求の範囲 | 1-12 | 有 無 |
| | 請求の範囲 | | |
| 進歩性(IS) | 請求の範囲 | | 有 無 |
| | 請求の範囲 | 1-12 | |
| 産業上の利用可能性(IA) | 請求の範囲 | 1-12 | 有 無 |
| | 請求の範囲 | | |

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 7-44315 A (ソニー株式会社) 1995.02.14, 第8欄, 第42行-第9欄, 第28行, 第10欄, 第3-9行, 第14欄, 第48行-第15欄, 第2行

& US 5453758 A
文献2: JP 62-229417 A (株式会社東芝) 1987.10.08, 第2頁, 左下欄, 第5-12行 (ファミリーなし)

文献3: JP 62-40517 A (株式会社東芝) 1987.02.21, 第2頁, 左上欄, 第2-9行, 第2頁, 右上欄, 第14行-左下欄, 第6行, 第6図 (ファミリーなし)

請求の範囲1

請求の範囲1に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

文献1には、装置本体を振ったときの角速度が所定値を越えた場合に、振った方向に対応する方向の移動コマンドコードを出力し、この移動コマンドコードに応じてカーソルを移動させる入力装置が記載されている。

ここで、文献1 (第14欄, 第48行-第15欄, 第2行) には、移動コマンドコードの出力を繰り返し行うことが記載されているから、文献1に記載された入力装置においても、装置本体を振っている時間に応じてカーソルの移動量が決定されるのは明らかである。

また、文献2には、予め決められた回数だけ同一データが連続入力された場合に、この入力データを出力する入力装置が記載されているから、文献1に記載された入力装置において、予め決められた回数だけ同一移動コマンドコードが得られた場合に、この移動コマンドコードを出力することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲2

請求の範囲2に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

ポインティングデバイスなどの入力装置で数値設定用指標を制御することは周知であるから、文献1に記載された入力装置で数値設定用指標を制御することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲3

請求の範囲3に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 V 欄の続き

ポインティングデバイスなどの入力装置で画面をパンニングすることは周知であるから、文献1に記載された入力装置で画面をパンニングすることは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲4

請求の範囲4に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

ポインティングデバイスなどの入力装置で子画面の移動または拡大を行うことは周知であるから、文献1に記載された入力装置で子画面の移動または拡大を行うことは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲5

請求の範囲5に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1-3により進歩性を有さない。

文献3には、押圧操作したキーのリピート回数に基づいてカーソルが移動するステップ数(カーソル移動速度)を算出し、押圧操作時間の長さに応じてカーソル移動速度を次第に速くする表示制御装置が記載されているから、文献1に記載された入力装置において、移動コマンドコードのリピート回数に基づいてカーソル移動速度を算出し、操作時間の長さに応じてカーソル移動速度を次第に速くすることは、当業者が容易に想到し得たものである。

また、ポインティングデバイスなどの入力装置で数値設定用指標を制御することは周知であるから、文献1に記載された入力装置で数値設定用指標を制御することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲6

請求の範囲6に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

ここで、文献1には、移動コマンドコードの出力を繰り返し行うことが記載されているから、文献1に記載された入力装置においても、装置本体を振っている時間に応じてカーソルの移動量が決定されるのは明らかである。

また、文献2には、予め決められた回数だけ同一データが連続入力された場合に、この入力データを出力する入力装置が記載されているから、文献1に記載された入力装置において、予め決められた回数だけ同一移動コマンドコードが得られた場合に、この移動コマンドコードを出力することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲7

請求の範囲7に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1-3により進歩性を有さない。

文献3には、押圧操作したキーのリピート回数に基づいてカーソルが移動するステップ数(カーソル移動速度)を算出し、押圧操作時間の長さに応じてカーソル移動速度を次第に速くする表示制御装置が記載されているから、文献1に記載された入力装置において、移動コマンドコードのリピート回数に基づいてカーソル移動速度を算出し、操作時間の長さに応じてカーソル移動速度を次第に速くすることは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲8-12

請求の範囲8-12に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1、2により進歩性を有さない。

文献1には、装置本体を振ったときの角速度が所定値を越えた場合に、振った方向に対応する方向の移動コマンドコードを出力し、この移動コマンドコードに応じ

補充欄 (いずれかの欄の大きさが足りない場合に使用すること)

第 V 欄の続き

てカーソルを移動させる入力装置が記載されている。
ここで、文献1には、移動コマンドコードの出力を繰り返し行うことが記載されているから、文献1に記載された入力装置においても、装置本体を振っている時間に応じてカーソルの移動量が決定されるのは明らかである。
また、文献2には、予め決められた回数だけ同一データが連続入力された場合に、この入力データを出力する入力装置が記載されているから、文献1に記載された入力装置において、予め決められた回数だけ同一移動コマンドコードが得られた場合に、この移動コマンドコードを出力することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請 求 の 範 囲

1. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と、検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に縦・横方向に複数配置表示されているメニュー項目についての選択表示を受信した角速度情報に従って移動する機能を備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じて選択表示の移動先のメニュー項目を決定する手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

2. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示されたメニュー項目の数値設定用の指標を受信した角速度情報に従って数値の増大または減少方向に移動させて表示する機能を備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じて数値設定用指標の増大または減少の変更幅を決定する手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

3. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示された画像を受信した角速度情報に従って移動させるパンニング機能を備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装

置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じた移動量でパンニングする手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

4. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示された子画面を受信した角速度情報に従って移動や拡大する機能を有するピクチャインピクチャ機能付き画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じた移動量で子画面の移動または拡大を行うことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

5. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示されたメニュー項目の数値設定用の指標を受信した角速度情報に従って数値の増大または減少方向に移動させて表示する機能を備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じて数値設定用指標の増大または減少の速度を変更する手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

6. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示されたカーソルやポイントを角速度情報に従って移動する機能を

備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じた移動量でカーソルやポイントを移動する手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

7. (補正後) 水平方向および垂直方向の角速度を検出する手段と検出した角速度情報を送信する手段を備えたポインティング装置と、該ポインティング装置から送信された角速度情報を受信する受信手段を有しスクリーン上に表示されたポイントを受信した角速度情報に従って移動する機能を備えた画像表示装置とで構成されたプレゼンテーション用表示装置において、

前記角速度情報から得られたサンプリング毎の移動量が連続して所定値を越えた時間に応じてポイントの移動速度を変更する手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用表示装置。

8. (補正後) 表示装置と、該表示装置と関連付けられ前記表示装置により表示された表示画面上の変更対象に関する操作を行うポインティング装置と、を備えた表示システムであって、

前記ポインティング装置が指示する指示位置に関する位置情報を検出する位置情報検出手段と、

該位置情報検出手段により検出された位置情報に基づいて、前記指示位置の単位時間毎の移動量をサンプリングする移動情報サンプリング手段と、

該移動情報サンプリング手段によりサンプリングされた前記指示位置の単位時間毎の移動量が連続してある閾値を越えた時間に基づいて前記表示画面上における前記変更対象の変更量を決定する変更量決定手段とを有することを特徴とする表示システム。

9. (補正後) 表示装置と関連付けされ該表示装置により表示された表示画面上の変更対象に関する操作を行うポインティング装置であって、

該ポインティング装置が指示する指示位置に関する位置情報であって、該位置情報に基づいて、前記指示位置の単位時間毎の移動量をサンプリングし、サンプリングされた前記指示位置の単位時間毎の移動量が連続してある閾値を越えた時間に基づいて前記表示画面上における前記変更対象の変更量を決定する位置情報を検出する位置情報検出手段を備えたことを特徴とするポインティング装置。

10. (補正後) 表示画面上の変更対象に関する操作を行うポインティング装置と関連付けされた表示装置であって、

前記ポインティング装置が指示する指示位置に関する位置情報に基づいて、前記指示位置の単位時間毎の移動量をサンプリングし、サンプリングされた前記指示位置の単位時間毎の移動量が連続してある閾値を越えた時間に基づいて前記表示画面上における前記変更対象の変更量を決定する変更量決定手段を備えたことを特徴とする表示装置。

11. (補正後) 表示装置と、該表示装置と関連付けされ前記表示装置により表示された表示画面上の変更対象に関する操作を行うポインティング装置と、を備えた表示システムであって、

前記ポインティング装置が指示する指示位置に関する角速度情報を検出する角速度情報検出手段と、

該角速度情報検出手段により検出された角速度情報に基づいて、前記指示位置の単位時間毎の移動量をサンプリングする移動情報サンプリング手段と、

該移動情報サンプリング手段によりサンプリングされた前記指示位置の単位時間毎の移動量が連続してある閾値を越えた時間に基づいて前記表示画面上における前記変更対象の変更量を決定する変更量決定手段と

を有することを特徴とする表示システム。

12. (補正後) 表示装置と、該表示装置と関連付けられ前記表示装置により表示された表示画面上をポインティングするポインタ位置を移動させる操作を行うポインティング装置と、を備えた表示システムであって、

前記ポインティング装置が指示する指示位置に関する位置情報を検出する位置情報検出手段と、

該位置情報検出手段により検出された位置情報に基づいて、前記指示位置の単位時間毎の移動量をサンプリングする移動情報サンプリング手段と、

該移動情報サンプリング手段によりサンプリングされた前記指示位置の単位時間毎の移動量が連続してある閾値を越えた時間に基づいて前記表示画面上における前記ポインタ位置の移動量を決定する移動量決定手段と

を有することを特徴とする表示システム。

Translation

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

PCT/JP2003/009094



128 JPA 2003

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

| | | |
|--|---|--|
| Applicant's or agent's file reference PH-1826-PCT | FOR FURTHER ACTION See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416) | |
| International application No. PCT/JP2003/009094 | International filing date (<i>day/month/year</i>) 17 July 2003 (17.07.2003) | Priority date (<i>day/month/year</i>) 31 July 2002 (31.07.2002) |
| International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC G06F 3/033 | | |
| Applicant SHARP KABUSHIKI KAISHA | | |

| | |
|----|---|
| 1. | This international preliminary examination report has been prepared by this International Preliminary Examining Authority and is transmitted to the applicant according to Article 36. |
| 2. | This REPORT consists of a total of <u>7</u> sheets, including this cover sheet. <input checked="" type="checkbox"/> This report is also accompanied by ANNEXES, i.e., sheets of the description, claims and/or drawings which have been amended and are the basis for this report and/or sheets containing rectifications made before this Authority (see Rule 70.16 and Section 607 of the Administrative Instructions under the PCT). These annexes consist of a total of <u>5</u> sheets. |
| 3. | This report contains indications relating to the following items: I <input checked="" type="checkbox"/> Basis of the report II <input type="checkbox"/> Priority III <input type="checkbox"/> Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability IV <input type="checkbox"/> Lack of unity of invention V <input checked="" type="checkbox"/> Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement VI <input type="checkbox"/> Certain documents cited VII <input type="checkbox"/> Certain defects in the international application VIII <input type="checkbox"/> Certain observations on the international application |

| | |
|---|--|
| Date of submission of the demand 18 November 2003 (18.11.2003) | Date of completion of this report 17 August 2004 (17.08.2004) |
| Name and mailing address of the IPEA/JP | Authorized officer |
| Facsimile No. | Telephone No. |

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP2003/009094

I. Basis of the report

1. With regard to the elements of the international application:*

- ☐ the international application as originally filed
- ☒ the description:
 pages 1-14, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____
- ☒ the claims:
 pages _____, as originally filed
 pages _____, as amended (together with any statement under Article 19
 pages _____, filed with the demand
 pages 1-12, filed with the letter of 13 April 2004 (13.04.2004)
- ☒ the drawings:
 pages 1-9, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____
- ☐ the sequence listing part of the description:
 pages _____, as originally filed
 pages _____, filed with the demand
 pages _____, filed with the letter of _____

2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Authority in the language in which the international application was filed, unless otherwise indicated under this item.

These elements were available or furnished to this Authority in the following language _____ which is:

- ☐ the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 23.1(b)).
- ☐ the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).
- ☐ the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination (under Rule 55.2 and/or 55.3).

3. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application, the international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:

- ☐ contained in the international application in written form.
- ☐ filed together with the international application in computer readable form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in written form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in computer readable form.
- ☐ The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go beyond the disclosure in the international application as filed has been furnished.
- ☐ The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the written sequence listing has been furnished.

4. ☐ The amendments have resulted in the cancellation of:

- ☐ the description, pages _____
- ☐ the claims, Nos. _____
- ☐ the drawings, sheets/fig _____

5. ☐ This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since they have been considered to go beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).**

* Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation under Article 14 are referred to in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not contain amendments (Rule 70.16 and 70.17).

** Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to this report.

V. Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement**1. Statement**

| | | | |
|-------------------------------|--------|------|-----|
| Novelty (N) | Claims | 1-12 | YES |
| | Claims | | NO |
| Inventive step (IS) | Claims | | YES |
| | Claims | 1-12 | NO |
| Industrial applicability (IA) | Claims | 1-12 | YES |
| | Claims | | NO |

2. Citations and explanations

Document 1: JP 7-44315 A (Sony Corporation), 14 February 1995, paragraph 8, line 42 to paragraph 9, line 28; paragraph 10, lines 3 to 9, paragraph 14, line 48 to paragraph 15, line 2 & US 5453758 A

Document 2: JP 62-229417 A (Toshiba Corporation), 8 October 1987, page 2, lower left column, lines 5 to 12 (Family: none)

Document 3: JP 62-40517 A (Toshiba Corporation), 21 February 1987, page 2, upper left column, lines 2 to 9; page 2, upper right column, line 14 to lower left column, line 6; fig. 6 (Family: none)

Claim 1

The invention set forth in claim 1 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

Document 1 sets forth an input device, wherein if the angular velocity when the main body of the device is shaken exceeds a predetermined value, a command code for movement in the direction corresponding to the direction in which the device was shaken is outputted, and the cursor is moved according to this movement command code.

Here, document 1 (paragraph 14, line 48 to paragraph 15, line 2) indicates that the movement command code is outputted repeatedly, therefore it would be obvious to a person skilled in the art that in the input device set forth in document 1, the movement distance of the cursor is determined according to the time which the device main body is shaken.

In addition, document 2 sets forth an input device, wherein if the same data is inputted consecutively a predetermined number of times, this inputted data is output, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of outputting a movement command code when the same movement command code has been obtained a predetermined number of times, in the input device set forth in document 1.

Claim 2

The invention set forth in claim 2 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

It is a known technique to control an indicator for numerical settings with a pointing device or other input device, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of controlling the indicator for numerical settings using the input device set forth in document 1.

Claim 3

The invention set forth in claim 3 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

It is a known feature for a pointing device or other input device to pan across a screen, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of panning the input device set forth in document 1 across a

screen.

Claim 4

The invention set forth in claim 4 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

It is a known technique to move or expand a sub-screen with a pointing device or other input device, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of moving or expanding a sub-screen with the input device set forth in document 1.

Claim 5

The invention set forth in claim 5 does not involve an inventive step in the light of documents 1 to 3 cited in the international search report.

Document 3 sets forth a display control device, wherein the number of steps by which a cursor moves (cursor movement velocity) is calculated according to the number of times the key is pressed repeatedly, and the cursor movement velocity is gradually increased according to the length of time the key is manipulated. It would therefore be easy for a person skilled in the art to conceive of calculating the cursor movement velocity based on the number of times the movement command code is repeated, and gradually increase the cursor movement velocity according to the length of manipulation time.

In addition, it is a known technique to control the indicator for numerical settings using a pointing device or other input device, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of controlling the indicator for numerical settings using the input device set forth in document 1.

Claim 6

The invention set forth in claim 6 does not involve

an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

Here, document 1 indicates that movement command codes are output repeatedly, therefore it is obvious that in the input device set forth in document 1, the cursor movement distance is determined according to the time that the device main body is shaken.

In addition, document 2 sets forth an input device, wherein if the same data is inputted consecutively a predetermined number of times, then this input data is output. It would therefore be easy for a person skilled in the art to conceive of outputting a movement command code if the same command code is obtained a predetermined number of times, in the input device set forth in document 1.

Claim 7

The invention set forth in claim 7 does not involve an inventive step in the light of documents 1 to 3.

Document 3 sets forth a display control device, wherein the number of steps by which a cursor moves (cursor movement velocity) is calculated according to the number of times the key is pressed repeatedly, and the cursor movement velocity is gradually increased according to the length of time the key is manipulated. It would therefore be easy for a person skilled in the art to conceive of calculating the cursor movement velocity based on the number of times the movement command code is repeated, and gradually increase the cursor movement velocity according to the length of the manipulation time.

Claims 8 to 12

The invention set forth in claims 8 to 12 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2 cited in the international search report.

Document 1 sets forth an input device, wherein if the angular velocity when the main body of the device is shaken exceeds a predetermined value, a command code for movement in the direction corresponding to the direction in which the device was shaken is output, and the cursor is moved according to this movement command code.

Here, document 1 indicates that the movement command code is output repeatedly, therefore it would be obvious to a person skilled in the art that in the input device set forth in document 1, the movement distance of the cursor is determined according to the time which the device main body is shaken.

In addition, document 2 sets forth an input device, wherein if the same data is inputted consecutively a predetermined number of times, this inputted data is output, therefore it would be easy for a person skilled in the art to conceive of outputting a movement command code when the same movement command code has been obtained a predetermined number of times, in the input device set forth in document 1.